

地域の方が先生に？（学校支援本部「朝先生」・杉一小）



杉並第一小学校では教育活動をよりよく進めるために、学校支援本部と協働して学びにつながる「朝先生」を実施しています。

朝先生とは、毎週、火曜日と金曜日の朝の時間に、地域の方が年間通して決まった学級に入る仕組みです。同じ学級に入ることで、一人ひとりの様子を丁寧にしたり、小さな変化、成長をつぶさに感じ取ったりすることができます。

杉一小は様々な日本の伝統文化に触れてきました。今回は、その中の一つとして火曜日に実施されている「百人一首」を拝見しました。相手児童に対する礼を大切にしている様子や同時に札に触れたときには互いに譲り合う様子など、百人一首を通して他者を思いやる気持ちが育っているのだと感じました。

右の写真は、朝先生終了後、全体で共有、引継ぎ等を行う場面です。校長先生から学校の近況報告をしたり、その日の学級の様子を朝先生から報告したりします。

長期で同一学級に関わることで、一人ひとりの変容を感じられることや、関係性が構築できるために、学年が上がっても、継続して様子を見られることなど、みなさん「自分のクラス、自分の学年、自分の学校」という意識が高いと感じました。多くの大人が関わり、担任と共有することで、一人ひとりのよさを見付け、認め、励ますことができ、児童の自己肯定感を高めたり、安全・安心な学級をつくったりすることにつながっているようです。

今日、うちのクラスは準備がとてもはやかったです。

朝先生一人ひとりが当事者として児童に関わっています。落ち着いて一日のスタートを切ることができています。

〇〇さん、こんなよい場面が見られました。

クラスとしてだいぶ落ち着いてきて学習に臨む態度が変わってきました。

去年に比べて、友達に対する接し方が、成長しましたね。

